

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270100811		
法人名	社会福祉法人 諏訪ノ森会		
事業所名	グループホーム 星遊荘		
所在地 (電話番号)	〒030-0933 青森県青森市諏訪沢字丸山63 (電話) 017-726-8500		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 8月 25日	評価確定日	平成 19年 10月 25日

【情報提供票より】(平成 19年 7月 30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 10年 12月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	5 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 7.5 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	10,500 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(7月 30日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.4 歳	最低	73 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	諏訪沢クリニック・医療法人ミナトヤ歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市内中心部から離れており、緑に囲まれた環境の中にある。地域交流は活発とはいえないが、町会の健康教室や季節行事にも参加しており交流は図られている。また、町内の方々を事業所に招待するなど相互交流に努力している。管理者及び職員が理念の下、同じ方向を向き進んでおり、利用者に対する愛情が感じられる。また、学習会等を通じターミナルケア等にも前向きに取り組み、ケアの質向上に努力している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域交流が立地上、困難な状況にあるが運営推進会議等を通じ地域への情報発信及び交流に積極的に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員ともに自己評価、外部評価を実施することにより、改めて業務の見直しとともに客観的な評価を加え更なるケアの向上に努めようとする取り組みをしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議においては、事業所の取り組みはもちろん、町内の活動、情報を積極的に取り入れながら地域との交流を図り、強めることに努力している。また、地域の学校とも協力し行事への参加及び訪問等を進めている。行政にも参加を依頼し、事業所の活動内容を開示し、適切な指導を仰ぐことにも努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	運営推進会議への参加により、家族の意向も運営に反映させる取り組みがなされている。広報誌は個人情報観点から家族のみに配布し、面会時には話の中から家族の要望を取り入れるように働きかけたり、相談箱を設置し対応している。事業所の職員異動が激しいという指摘には管理者が交代し落ち着いてきている状況であり、利用者が安心して生活できる様には職員の異動を極力抑える事を運営者とも話し合っていくこととしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	入居者の生活の活性化を図ることを目的に地域交流に努めている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「共生の構築」を事業所の基本理念として掲げ、地域や家族との結びつきを重視され、サービスの提供に努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「自分らしく笑顔で暮らせる星遊荘」を共有し、利用者のサービスに取り組み、家族や地域との関わりを大事にされている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内で行われた健康相談会に利用者が参加し、健康体操や押し花作りをしてひとときを楽しまれた。彼岸には団子を作り、地元の菩提寺にお参りしたり、神社の大祭に参加する等して地域との関わりを持っている。9月には星遊荘まつりがイベントとしてあり、町内にポスターを貼っていただく等地域との連携に取り組んでいる。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者、職員は自己評価を実施する事で改めて意義を理解され、評価を活かして改善に取り組まれている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内の民生委員・家族・利用者等が参加し、2ヵ月に1回行われている。サービスの実施状況、次回に向けての取り組みの報告、話し合いが行われ、それらの結果をサービスの質向上に活かしている。次回より市町村担当者が参加する。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の事情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村との行き来はないが、次回より運営推進会議に参加することになった為、連携を取り、現場の問題点や課題を共有し、サービスの質の向上を目指していきたい。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>法人に権利擁護委員会があり月1回勉強会を行っている。又、参加できなかった職員の為に伝達研修も行われ、必要な時に活用できるよう、支援されている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人の虐待防止の学習会があり、参加して施設内にて研修を行い、みんなで理解し防止に努めている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項に基づいて説明をし、納得した上で契約をしている。退居時は主治医からの説明があり、理解されている。見学に見える方もいる。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康状態はその都度報告されており、金銭管理はお預かりしている預金通帳のコピーと領収書を1ヶ月毎に送り確認されている。利用者の暮らしぶりが分かる様、月1回後家族に広報誌が送付されている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議に家族が参加しており、苦情・意見があれば出させていただく様に努めている。又、苦情処理箱の活用がホームの質の向上につながる事を理解していただく様努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動の際の引継ぎや紹介等が行われているが、利用者、家族に突発的に伝えられている。</p>		<p>職員異動時には、早期に利用者、家族に伝え、心理面における生活への不安を少しでも軽減する取り組みが望まれる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内での委員会・学習会があり、職員が参加し、施設内で伝達研修が行われている。外部研修簿があり、希望する研修に参加できる等、積極的に取り組まれている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>圏内のグループホーム懇親会に参加し、勉強会や互いに問題解決策を共有する等、取り組まれている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>馴染みの家財を持ち込まれ、家庭での雰囲気再現したり、気の合った方とくつろげる様配慮する等、工夫されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>会話を楽しみ共に過ごし支え合う関係を築くよう努めている。</p>		<p>管理者の指導の下に、コミュニケーション技法・その必要性を理解し、利用者との支え合う関係を更に築いていく事を期待したい。</p>


外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	目配り、気配りがされ、訴えや仕草等から希望や意向を把握する様努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の意見も取り入れ、カンファレンスにて本人の意見や要望について話し合い、介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化により介護計画の見直しの時はカンファレンスを開き、新たに計画を作成している。家族の参加が得られない時は、時に訪問し家族の意見を求めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況に変化があった時は、リハビリ担当者に報告し、協力を得られる機能がある。事業所の多機能性を活かした支援が柔軟に行われている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族・本人の意向に沿ってかかりつけ医が決められており、週1回受診し、医療が受けられている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期について家族への話しをその都度されている。体調の急変やリスク管理を家族と話し合っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いの指針に基づき記録物の整理・管理がなされている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースが大切にされ、無理強いする事なく自然体に沿って支援されている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者にあった作業をしていただき、「一緒に作る・一緒に食べる」事を大切に、毎日続けられている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日は決められているが、時間は利用者に合わせて支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	週1回百人一首を行い、他からも利用者が参加してくれる。詩吟や畑作りも楽しみごとの一つとして行われ、張りのある生活を支援している。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物は町内の店を利用し、好きな物を買に行っている。大きなスーパーは沢山あり、地域との関わりにもなっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束禁止は全職員が理解し、行っていない。利用者に対する「だめだ」は言葉の拘束として捉えており、不穏になるので使用しないケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>社会状況から判断し、外部から守る為に法人の方針で現在は鍵をかけているが、面会者等に配慮してすぐに対応している。帰られた時もすぐ鍵をかけるのではなく一時時間をおいて音を静かにかけケアに取り組んでいる。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の避難訓練、定期的に防災訓練を実施しており、関連施設の協力も得ている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事時に摂取量を把握し、変化のある時は観察・記録がされ、水分の足りない方には好みの物で補給し、支援をしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>法人の感染予防対策委員会に参加し、対策法を掲示し全員で予防や対応に取り組まれている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ロールカーテンの使用により明るさを保ちながら日差しを調整するなど、居心地良く過ごせる工夫がされている。季節感にも配慮した環境づくりがされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が使い慣れている道具や身の回りの物を整理するタンス等、状況に合わせて居心地の良い環境づくりの工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。